

ため池による災害に備えよう

ため池は、農業用水の水源として利用されるかんがい機能の他、洪水調整機能も有しています。しかし、破堤により水害をおこす危険性を併せ持っています。

市では、地震が発生するという最悪の事態を想定し、ため池決壊による浸水被害の想定と、避難対策等の情報を分かりやすく住民の皆さんに提供することを目的にハザードマップを作成しました。詳細は24ページを参考にしてください。

浸水の発生しやすい場所や状況を日頃から把握し、危険を感じたら自主的避難を心掛けましょう。

こんなときには要注意

大雨のとき

大雨のとき、ため池の水位が上昇し堤防を乗り越えた水の勢いによって堤防が侵食され、決壊することがあります。

竹や流木が洪水吐の断面を閉塞させると、堤防を越流しやすくなり、侵食・崩壊の危険性は、いっそう高くなります。



大地震のとき

大地震のときに、ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じることや、地盤の液状化により、決壊する危険性があります。

比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐え切れず決壊に至ることがありますので、注意が必要です。



ハザードマップの地域版

全域旅游版のハザードマップでは各地域の情報が分かりにくいことがあります。

そこで、地域ごとに拡大したハザードマップも用意しております。これらは市のホームページに掲載しています。

～土砂災害ハザードマップ～

～ため池ハザードマップ～

